

教職員の皆さんへ

平成23年度 教職員サマーセミナー

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深めたり、教職に関わる教養を学んだりすることにより、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

今年度も15講座を開きます。

対象者

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学において、午前9時30分から午後4時まで

申込み方法

7月1日（金）までに、次のいずれかの方法により申し込んで下さい。

① FAXによる申込み

所定のFAX送信票に必要事項を記入して送付してください。

FAX番号：028-649-5334

② メールによる申込み

所属機関名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信してください。

ssc-1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅費等

所属機関の負担です。教材費がかかる場合もあります。

その他

- ① この講座は、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、教職10年目研修、教職20年目研修の選択研修の対象になっています。
- ② 会場の宇都宮大学には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案内は、宇都宮大学教育学部Webサイトで確認できます。当日、正門の守衛所でも案内します。

主催 宇都宮大学教育学部・栃木県総合教育センター

平成 23 年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送信先	宇都宮大学教育学部 教職員サマーセミナー担当 宛			FAX	028-649-5334		
発信元 (申込者)	所属機関	立			学校		
	電話番号	—	—	FAX番号	—	—	
	申込者 氏名	(ふりがな)					
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の□欄に✓をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 初任者研修 <input type="checkbox"/> 教職 2～5 年目研修 <input type="checkbox"/> 養護教諭 2～5 年目研修 <input type="checkbox"/> 教職 10 年目研修 <input type="checkbox"/> 教職 20 年目研修					

希望	番号	講座名	分野	講師	実施日	定員	対象	準備物・その他
	1	数学教員のための論理学	数学	藤平 秀行	7月21日 (木)	20名		
	2	家庭科における小・中・高の系統的な学びとは	家庭科教育	赤塚 朋子	7月25日 (月)	50名		消費・環境分野の実践資料
	3	英文法再確認 — 動名詞と名詞化形を中心に	英語学、言語学	谷 光生	7月26日 (火)	30名	中学校教員 高校教員	必要あれば辞書
	4	栃木県における外国人児童生徒教育の明日を考える	外国人児童生徒教育 国際理解教育	丸山 剛史	7月26日 (火)	30名	本分野に関わる教員	教材・通知文などの実践資料
	5	理科実験スキルアップ	小学校理科	南 伸昌	8月2日 (火)	25名	小学校教員	ハミ、カッター、安全めがね、軽装
	6	中世日本語の世界 — 古代語から現代語へ	日本語学、日本語史	田和真紀子	8月3日 (水)	50名	古典文法の知識ある方	古語辞典
	7	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保健体育	加藤 謙一	8月4日 (木)	20名		トルニングUP、シューズ
	8	おもしろ電子工作	技術	苫米地義郎	8月8日 (月)	5名		
	9	ものづくり教材開発セミナー	技術	針谷 安男	8月10日 (水)	15名	ものづくりへの関心がある方	
	10	和声実技	音楽	木下 大輔	8月11日 (木)	20名	中・高音楽教員 小音楽担当教員	課題あり
	11	校内授業研究を中心とした学校改善	教育学	松本 敏	8月12日 (金)	50名		
	12	生活環境創造のための美術	美術	梶原 良成	8月17日 (水)	25名		教材費 実費負担あり
	13	RCRTを通して見つめる 学級経営	教育心理学	川原 誠司	8月18日 (木)	10名	主として学級担任の教員	RCRT質問紙の回答
	14	教科・領域と連携した道徳学習の工夫 — 短期連関型の道徳学習モデル	教育学 道徳教育	渡邊 弘	8月19日 (金)	20名	小学校教員 中学校教員	
	15	体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし(その2)	保健体育 コミュニケーション	茅野 理子	8月19日 (金)	35名		トルニングUP、シューズ、筆記具

(備考)

- 1 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
- 2 各講座では準備物、その他、注意事項があります。総合教育センター及び宇都宮大学教育学部のWebサイトでご確認ください。
- 3 申込期限は、7月1日(金)です。
- 4 各申込者には、×切後、所属機関宛に「受講者名簿」をFAXにより送信しますのでご確認ください。定員を超えた場合は、多少の増員を配慮することもあります。選択研修として受講される方を優先し、他は先着優先とします。

本送信票をコピーしてお使いください。

講座案内

☆☆☆ 留意事項 ☆☆☆

1. 受講対象が明記されていない講座は、学校種を問わず受講することができます。
2. 演習形式の講座は、定員を超えて受け付けることができない場合もありますのであらかじめご承知おきください。
3. 申し込まれた講座が既に定員に達しており、受け付けることができない場合は所属機関宛にFAXまたは電話によりご連絡致します。

1 数学教員のための論理学 7月21日(木) 分野：数学

講師	藤平 秀行
会場	教育学部A棟2F 2203教室 定員 20名
概要	命題とは何かから始めて、論理式 $p \Rightarrow q$ の構造、有名なパラドックス等について考察し、 $\varepsilon - \delta$ 法に言及します。

2 家庭科における小・中・高の系統的な学びとは 7月25日(月) 分野：家庭科教育

講師	赤塚 朋子
会場	教育学部A棟3F 2301教室 定員 50名
概要	新学習指導要領のもと、小・中・高の家庭科の系統的な学びについて、2010年に引き続き、一緒に考えていきます。今回は、各論として、消費・環境に焦点をあてます。
準備	消費・環境分野の実践資料

3 英文法再確認 ー動名詞と名詞化形を中心にー 7月26日(火) 分野：英語学・言語学

講師	谷 光生
会場	教育学部A棟2F 2203教室 定員 30名
対象	中、高校教員
概要	英語は動名詞や名詞化形の使用が（特に書き言葉では）目立ちます。そのため学校文法においても重要な文法事項の一つ（ないしは二つ）としてこれらを学びます。本セミナーでは今一度これらの文法事項の要点を確認するとともに、たいへん重要であるにもかかわらず学校文法の範囲では触れられていない諸特徴にも目を向け、英文法の基礎を固めます。（なお、本セミナーの内容は教育現場で即利用できるような指導法や知識に焦点を当てているのではなく、英語という言語の一端をやや詳しく検討するという点に主眼を置いていますので、ご注意ください。）
準備	必要があれば辞書を携行下さい。

4 栃木県における外国人児童生徒教育の明日を考える 7月26日(火)

分野：外国人児童生徒教育・国際理解教育

講師	丸山剛史 森田香緒里 小原一馬 田巻松雄 鎌田美千子
会場	教育学部A棟2F 小会議室 定員 30名
対象	外国人児童生徒に関わっている教員や経験・関心を持つ教員
概要	このセミナーは、栃木県における外国人児童生徒教育の現状と課題について討議することを目的としています。就学状況や進路問題、学校における受け入れや日本語指導、地域との連携等、様々な角度から現状について検討していきます。また、このセミナーは、文部科学省特別経費プロジェクト「グローバル化社会に対応する人材養成と地域貢献」と連動しております。当日は、国際学部の先生をはじめとした、上記の研究に関わる種々の立場の方々から情報及び意見をいただく機会を設ける予定です。
準備	教材や通知文など、外国人児童生徒向けに使用したり工夫したりしているもの。

5 理科実験スキルアップ 8月2日(火)

分野：小学校理科

講師	南 伸昌
会場	教育学部理科棟3F 学生実験室 定員 25名
対象	小学校教員
概要	実験や工作を通じて理科を楽しみます(主に小学校中学年向け)。○空気と水の性質：空気の重さ ○金属、水、空気と温度：温度と体積、気体の加熱、逆流実験 ○光の性質：ピンホールカメラ、牛乳パックカメラ、光の暖かさ ○電気のはたらき：電池とは、炭電池、豆電球の性質 ○磁石の性質、電流のはたらき：電磁誘導、クリップモーター ○その他時間に応じて：カムバックカー(ゴムの工作)、月の形の教材、コンデンサーの紹介など。
準備	はさみ、カッター、セロテープ、安全めがね(以上貸し出し有り)、筆記用具
その他	涼しく、活動しやすい服装でお越し下さい。諸般の事情により、内容の一部が変更される場合があります。

6 中世日本語の世界 —古代語から現代語へ— 8月3日(水) 分野：日本語学・日本語史

講師	田和 真紀子
会場	教育学部F棟1F 2104教室 定員 50名
対象	学校種は限定しませんが、高校までの古典文法の知識のある方を対象とします。
概要	古代語から現代語に移り変わる過渡期のことば・中世の日本語の姿に迫ります。『源氏物語』や『枕草子』のことばから、現代の我々が書いたり話したりしていることばになるまで、1000年の間にことばはどのように変化したのでしょうか。そこで、本セミナーでは日本語が劇的に変化した中世の日本語にスポットライトを当て、古代語の崩壊と現代語の萌芽について、説話・法語・狂言・キリシタン資料・抄物といった話しことば的な中世資料の日本語から迫っていきたいと思います。
準備	古語辞典(電子辞書でもかまいません)

7 発育期における体育・スポーツ指導のあり方 8月4日(木) 分野：保健体育

講師	加藤 謙一
会場	教育学部A棟3F 2301教室 及び 第1体育館 定員 20名
概要	現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。
準備	トレーニングウェア(着替え等)、体育館シューズ
その他	講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい(見学可)。

8 おもしろ電子工作 8月8日(月) 分野：技術

講師	苫米地 義郎
会場	教育学部理科棟1F 電気工学実験室 定員 5名
概要	トランジスタや抵抗等がブロック化されている市販の電子ブロックを用いて、いろいろな電子回路(ゲルマニウムラジオや電子オルゴール等)を作成します。実際に稼働させ、回路が正常に動作するかどうかを調べます。また、担当者が、製作した回路の動作原理を説明するとともに、授業(主に中学校技術科)の教材としてどのように生かしていくか検討します。

9 ものづくり教材開発セミナー 8月10日(水) 分野：技術

講師	針谷 安男
会場	教育学部A棟2F 小会議室 定員 15名
対象	ものづくりや技術教育に関心のある方
概要	最近、注目を集めている教育用自律型ロボット(小学生、中学生、高校生向き)に触れるとともに、それらの製作、ロボットの動作原理と制御方法及びプログラミングなどを体験的に学びます。
その他	製作する教育用自律型ロボット(組み立て式)は、受講者の希望にあわせて決定します。

10 和声実技 8月11日(木) 分野：音楽

講師	木下 大輔
会場	教育学部音楽棟2F 合奏室 定員 20名
対象	小学校音楽担当教員・中学校・高等学校音楽教員
概要	現在の学習指導要領に示された音楽教科の内容を扱う教師には、音楽理論・和声の能力(実技・知識)が必要不可欠です。本セミナーでは、受講者が、宇都宮大学教育学部音楽科2年生と同等の能力(音楽之友社『和声：理論と実習 第2巻』終了程度の能力)をあらかじめ持っていることを前提に、課題実施、個人レッスン、相互批判(場合によってはキーボード・ハーモニーを含む)を行います。
準備	あらかじめ課題を出しますので、それを実施してきてください。(受講決定者には、スクールサポートセンターより課題用紙を送付いたします。)

11 校内授業研究を中心とした学校改善**8月12日(金)****分野：教育学**

講師 松本 敏

会場 教育学部理科棟2F 大会議室 定員 50名

概要 一人一人の教員の力量を高めることが大切なのはもちろんですが、それだけでは学校全体の力は高まりません。どうすれば同僚性を高め、個々の力を結集できるのでしょうか。校内授業研究を継続することで学校が活性化する道筋を、私が実際に関わった小・中学校の経験をもとに考えます。

12 生活環境創造のための美術**8月17日(水)****分野：美術**

講師 梶原 良成

会場 教育学部B棟1F 図画工作室 定員 25名

概要 美術科や図画工作科が子どもたちの生きる未来の社会とどのように関係しているのかアプローチしていきます。本来、美術は、人々が自分たちの身近な生活環境をより良くしていこうとする活動から始まったはずで、そうした美術の初心を振り返るところからはじめ、講義と実技を交えながら、美術の本質的な意義を考えます。

その他 教材費 1,500円程度のご負担をお願いします。(当日お預かりします。)

13 RCRTを通して見つめる学級経営**8月18日(木)****分野：教育心理学**

講師 川原 誠司

会場 教育学部A棟2F 2201教室 定員 10名

対象 現在、学級担任である方。他校種や他者のことでも関心を持って話を聴ける方。

概要 学級経営では、担任となる教師の「クセ」が多分に反映します。子どもとの関係で、そのクセが「嫌“味”」や「後“味”の悪さ」ではなく、自分なりの「持ち“味”」として発揮できることは、児童・生徒指導や教育相談においても大事な点です。このセミナーでは、RCRTという心理測定具を用いて、教師自身のクセを見つめ、それをもとに自分の学級経営方法のあり方を見つめてもらい、改善方法を考えてもらうことを目的とします。

準備 受講者は、事前にRCRTの質問等に回答してもらいます。7月中旬に郵送します(返信用封筒在中)ので、質問に回答し、7月末日までに返送してください。

その他 RCRTは、自分自身の結果や他者の結果を見て、感じ、考えるものですので、講座内でそのことに積極的に取り組めることが前提です。

14 教科・領域と連携した道徳学習の工夫 ー短期連関型の道徳学習モデルー 8月19日(金)**分野：教育学・道徳教育**

講師 渡邊 弘

会場 教育学部A棟2F 小会議室 定員 20名

対象 小・中学校教員

概要 学習指導要領改訂により、道徳の時間を「要(かなめ)」として、教科・領域と連携して児童・生徒の道徳性を育成していくことが明記されました。特に今回、言語活動と体験活動を視野に入れながら、発達段階に即して系統的・発展的に指導・支援していく必要があります。以上の点を踏まえながら、このセミナーでは、どのように工夫していけばよいのかを考えていきます。

15 体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その2)**8月19日 (金)****分野：保健体育・コミュニケーション****講師** 茅野 理子**会場** 第2体育館 **定員** 35名

概要 体や心の緊張をほぐし、人間関係の緊張をほぐす様々な「遊び」を実践します。ヒトとして、人間としての豊かな育ちを保障する、年齢、対象にあわせた遊びを提供します。前回からの発展として、参加者全員で創る新たな遊びへの展開をめざします。同時に、先生ご自身の体ほぐし、心ほぐし、関係ほぐしとなるように……。夏の日、思いっきり笑って、命の洗濯をしませんか。

準備 運動ができる服装、体育館シューズ（裸足になる場合もあり）、筆記用具、バスタオル。